

ペットボトルでマイ虫かごを作ろう!

生きものを採集して観察するには、虫かごが必要です。ペットボトルを使い、軽くて丈夫で、どこにでも持っていける君だけのマイ虫かごを作ってみよう。ペットボトルは透明なので、採集した生きものの姿と動きがよくわかります。



ペットボトル
*2Lのものがよい。



ビニールテープ
*好きな色をカラフルに
組み合わせよう。



PPひも

用意する工作道具 ペットボトル用のはさみ・カッター・1穴パンチ

作り方

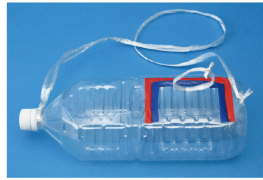


①ペットボトルに「コ」の字型の切り込みを入れ、ビニールテープをはる。この部分が虫かごとびらになる。

*結んだほうがしっかりと固定できるが、飲み口の中に入れるタイプは、ひもの長さがあとから調整できる。



②とびらに穴を開け、ひもで開け閉め用の持ち手をつける。(穴開けは1穴パンチがよい。)



③ペットボトルの底に穴を2つ開けて、ひもを通して結ぶ。底に結んだひものもう一方を、飲み口の中に入れるか、下のところで結ぶ*。

使い方

虫あみや手でつかまえた生きものを、コの字型のとびらを開け、そっと虫かごの中に入れます。



つかまえた生きものの姿や動きをじっくり見ることができます。

いろいろな生きものを入れてみよう

○ ペットボトル虫かごに入れるのにおすすめの生きもの

*肉食の昆虫(カマキリなど)が虫かごにいるときは、食べられてしまうのでほかの生きものを入れてはいけません。



トノサマバク



ハラビロカマキリ



ゴマダラカマキリ



エンマコオロギ



ギンヤンマ

モンシロチョウ

*チョウやトンボなどは、虫かごの中で飛びまわり、はねがボロボロになるので、にがしてあげましょう。

ペットボトル虫かごで、すむ環境ごと観察しよう

ペットボトル虫かごには、草や土、水も入れられるので、生きものをすんでいる自然環境ごと採集することができます。全体が透明なので、あらゆる角度から観察することもできます。ペットボトルの中に生きものをできるだけ自然な姿で入れ、えさを食べたり、草かげにかくれたりする様子をじっくり観察してみてください。生きものの持っているみりよくを再発見できます!

簡単にゲットできて、軽くて丈夫で透明なペットボトルは虫かごにピッタリです。自分でつくったマイ虫かごは世界でひとつだけのものです。シールをはったり、マジックで模様をつけたりすればさらにスペシャルな相棒に!
(奥山)

◆自然を調べるプロのスゴ技にチャレンジ! 特別配信版(期間限定) / 少年写真新聞社『100円グッズと身近な道具でできる! 博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう ①発見と採集』小川誠・奥山清市・矢野真志 / 共著(西日本自然誌系博物館ネットワーク) p.42-43より
*このシートは、非商業的な利用に限り使用を許諾します。 ©小川誠・奥山清市・矢野真志